



陣見山

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる松久小学校

令和元年12月16日

第16号

「もったいない」

もうすぐ2学期も終了し、冬季休業に入ります。毎年2学期の終業式では、「もったいない」ということについて、子供たちに必ず話をすることになっています。

今年の10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。まだ食べられる食品の廃棄量削減を推進する法律で、食品の購入または調理方法を改善すること等により、食品ロスの削減について意識的に取り組むよう努めること等が明記されています。

平成30年度の食料自給率は37%で、残りの6割を超える食料は輸入に依存している状況です（農林水産省）。そして、平成28年度の食品ロスは643万t。643万tと子供たちに言っても、どのくらいの量なのか分かりませんので、tをkgにして伝えています。

6430000000kg（64億3千万キログラム 小学校4・5年生が2億人以上）これでも



ご飯を毎日1人が1杯以上捨てていることになりました。

も子供たちに話していきます。

ピンとこないでしょうが、大きな量であることは分かっていると思います。これだけの量が毎年ゴミとして処理されていくとなると、これからの日本は、世界はどうなってしまうのか、そんなことへの関心を子供たちが少しでも持ってくれればと願って話をしています。年の瀬や正月には、美味しいものを食べる機会もたくさんあるかもしれません。そんなときに、食品ロスのことを思い出してくれたらと思っています。

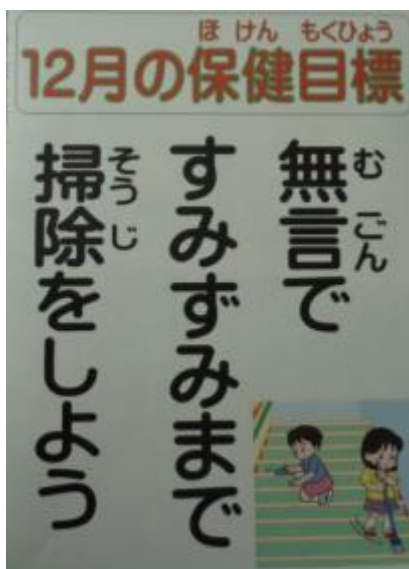
食べ物を大切にすることは、食べ物以外の「もの」を大切にすることにもつながり、「人」を大切にすることにもつながるのではないのでしょうか。

「もの」や「人」を大切にすることが『思いやり』『感謝』『優しさ』の心となって子供たちに育まれることを強く願い、今年

「汚れに近づく」

一年間の汚れをしっかりと落として、きれいな環境で新年を迎えたいところです。12月の保健目標を『無言ですみずみまで掃除をしよう』と設定し、児童と教職員がともに汗を流して取り組んでいきます。（左の写真）

「汚れに近づく」ということを教えていなかったように思いました。立ったままで掃除をすると分からない汚れも、床や便器に顔を近づけてみると汚れに気付きます。子供たちが抱える問題の解決も子供たちの心にもっと近づけばいいことにトイレ掃除をしながら気付くことができました。汚れに近付かないと汚れは取れない。私たちの生活の中にある様々な問題も逃げていたのでは解決できない。汚れに近づくように問題を追いかけて初めて問題は解決に向かうものです。西村 徹 著「東井義雄の言葉」より



「やるき・こんき・げんき」

11月27日（水）遺跡の森グラウンドにて持久走大会を行いました。当日は、保護者・地域の

皆様の温かい御声援をいただき、子供たちは持てる力を精一杯発揮して、いつも以上のがんばりを見せてくれました。「松久小3つのき」に掲げる『やるき』・『こんき』・『げんき』が一步一步成長してきていることが感じられました。



学年・男女別第1位 おめでとうございます！

学年	1	2	3	4	5	6
男子	長谷川寛斗	内田 耀介	堀内 時充	蓮 総司	長谷川甲斐斗	丸山 湊大
女子	銅島 杏	飯塚寿恵幸	井坂 侑音	中村 柚葵	田端 あいり	上原 さくら

「掲示物の教育力」

校舎に入ると、玄関や廊下、階段、そして教室に様々な掲示物が貼られています。それらの掲示物は、教育的な意図のもとに貼られています。年間をとおして貼られているもの、時期で変えるものなど様々です。御来校の際には、ぜひ掲示物もご覧いただけると幸いです。（一部紹介）



本校の教育の柱



爪を切って清潔に！（保健室）



クイズ形式で楽しく学ぶ



道徳コーナーを新設



書き初め練習がんばっています



めあてを書いて取り組みます



いじめはしません！